



FileMaker®

インストールおよび新機能ガイド

FileMaker Pro 11 and FileMaker Pro 11 Advanced

© 2007-2010 FileMaker, Inc. All rights reserved.

FileMaker, Inc.

5201 Patrick Henry Drive

Santa Clara, California 95054

FileMaker、ファイルメーカー及び Bento は、FileMaker, Inc. の米国及びその他の国における登録商標です。ファイルフォルダロゴ及び Bento ロゴは、FileMaker, Inc. の商標です。その他のすべての商標は該当する所有者の財産です。

FileMaker のドキュメンテーションは著作権により保護されています。FileMaker, Inc. からの書面による許可無しに、このドキュメンテーションを複製したり、頒布することはできません。このドキュメンテーションは、正当にライセンスされた FileMaker ソフトウェアのコピーがある場合そのコピーと共にのみ使用できます。

製品及びサンプルファイル等に登場する人物、企業、E メールアドレス、URL などのデータは全て架空のもので、実在する人物、企業、E メールアドレス、URL とは一切関係ありません。スタッフはこのソフトウェアに付属する「Acknowledgements」ドキュメントに記載されます。他社の製品及び URL に関する記述は、情報の提供を目的としたもので、保証、推奨するものではありません。

詳細情報については www.filemaker.co.jp をご覧ください。

第 01 版

目次

第 1 章

インストールを始める前に	5
FileMaker のドキュメントについて	5
サポートと情報	6
電話サポート	6
更新の通知	7
新しいバージョンの通知	7
ライセンスキーについて	8
機能を使用するための条件 (Windows)	9
機能を使用するための条件 (Mac OS)	10
Windows でサポートされていない機能	10
Mac OS X でサポートされていない機能	11
旧バージョンのファイルの開き方	11
FileMaker Pro の旧バージョンからのアップグレード	11
ユーザ辞書の更新	12
ボリュームライセンスでのインストール	12

第 2 章

Windows での FileMaker Pro のインストール	13
インストール参考事項	13
FileMaker Pro のインストール	14
FileMaker Pro の登録	15
コマンドラインからの FileMaker Pro のインストール	16
Bonjour のインストールについて	16
ハードディスク上でのファイルの保存場所	18
FileMaker Pro 11 の削除、変更、または修復	18
FileMaker Pro のキャッシュサイズの変更	18
この後の作業を開始するにあたって	19

第 3 章

Mac OS での FileMaker Pro のインストール	21
インストール参考事項	21
FileMaker Pro のインストール	22
FileMaker Pro の登録	23
インストールログファイルの表示	23
FileMaker Pro 11 のアンインストール	23
FileMaker Pro のキャッシュの調整	24
この後の作業を開始するにあたって	25

第 4 章

新機能	27
レポートおよび分析の改善	27
他のアプリケーションやデータソースとの統合	27
使いやすさの改善	28
アプリケーションの基盤	29
スクリプトステップ、スクリプトトリガ、および関数	30
変更された機能	31
FileMaker Pro 11 Advanced	31

第 1 章

インストールを始める前に

このたびは FileMaker® ソフトウェアをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。FileMaker は情報を簡単、効果的に管理できるように設計されています。

FileMaker のドキュメントについて

『インストールおよび新機能ガイド』では、FileMaker Pro 11 または FileMaker Pro 11 Advanced を Windows または Mac コンピュータにインストールする方法とソフトウェアの新機能を説明しています。

メモ このガイドでは、FileMaker Pro Advanced の特定の機能を説明する場合以外は、「FileMaker Pro」を、FileMaker Pro と FileMaker Pro Advanced の両方を指すものとして使用しています。

『FileMaker Pro ユーザーズガイド』では、すぐに効率的な作業に取りかかるために必要な情報が記載されています。FileMaker Pro の使用経験がない場合は、『FileMaker Pro チュートリアル』を行って主要な機能を試してみてください。あらゆる情報を網羅した手順ごとの操作と詳細については、FileMaker Pro ヘルプを参照してください。

『FileMaker Pro Advanced デベロップメントガイド』では、FileMaker Pro Advanced で利用可能なメニューのカスタマイズ、テーブルのコピーとインポート、データベースデザインレポート、データビューアを使用したフィールド、変数、式の監視など、追加機能が説明されています。

メモ ある機能または手順が特定のプラットフォームを対象としている場合は、説明および図もそのプラットフォームに固有の内容です。両方のプラットフォームに共通する機能や手順については、Windows または Mac OS のいずれかの図が表示されます。

FileMaker に関するドキュメントをダウンロードして参照するには、www.filemaker.co.jp をご覧ください。

このガイドについてのフィードバックをお送りになる場合は www.filemaker.co.jp を参照してください。

サポートと情報

テクニカルサポートとカスタマサービスに関する情報については www.filemaker.co.jp を参照してください。

- FileMaker テクニカルサポートインフォメーション – [ヘルプ] メニュー > [リソースセンター]
- FileMaker フォーラム – [ヘルプ] メニュー > [FileMaker フォーラム]
- ビジネス、組織、教育用の既製ソリューションの検索 – developer.filemaker.com/solutions
- FileMaker リソースの一覧 – www.filemaker.co.jp/support
- FileMaker 製品の詳細とシステム条件 – www.filemaker.co.jp/products
- FileMaker ニュースレターの購読 – news.filemaker.co.jp

メモ FileMaker Knowledge Base は英語のみです。FileMaker フォーラムは、英語、フランス語、ドイツ語、日本語で提供されています。

電話サポート

お客様のシステム構成がソフトウェアの最小システム条件を満たしている場合、FileMaker サポート担当者が、インストール、起動、または再インストール（データ復旧を除きます）についてサポートします。電話サポートについては、www.filemaker.co.jp/support を参照してください。

更新の通知

FileMaker Pro 11 は、7日ごとにソフトウェアの更新を自動的にチェックします。インターネット接続がある場合は、更新 Web ページにアクセスしてソフトウェアの更新をダウンロードできます。[ヘルプ]メニュー>[ソフトウェア更新の確認...]を選択して、後で更新することもできます。

メモ この機能はソフトウェアのインストールをするものではありません。アップデートソフトウェアへのアクセスとダウンロードにはインターネット接続が必要です。

更新の通知を無効にするには、次のいずれかの操作を行います。

- [更新の通知]ダイアログボックスで、[更新を自動チェックしない]を選択します。
- Windows の場合、[編集]メニューから[環境設定...]を選択します。Mac OS の場合は、[FileMaker Pro]メニューから[環境設定...]を選択します。[一般]タブで、[更新が利用できる場合は通知する]オプションの選択を解除します。更新の通知を再び有効にするには、この設定を選択します。

更新の通知を無効にすると、[更新の通知]ダイアログボックスは表示されません。

新しいバージョンの通知

FileMaker Pro 11 は、30日ごとに新しいソフトウェアのバージョンを自動的にチェックし、購入できる新しいバージョンがある場合はユーザに通知します。

新しいバージョンの通知を無効にするには、次のいずれかの操作を行います。

- [新しいバージョンの通知] ダイアログボックスで、[新しいバージョンについて通知しない]を選択します。
- Windows の場合、[編集]メニューから [環境設定...]を選択します。Mac OS の場合は、[FileMaker Pro] メニューから [環境設定...]を選択します。[一般]タブで、[新しいバージョンが利用できる場合は通知する]オプションの選択を解除します。新しいバージョンの通知を再び有効にするには、この設定を選択します。

新しいバージョンの通知を無効にすると、[新しいバージョンの通知] ダイアログボックスは表示されません。

ライセンスキーについて

FileMaker ソフトウェアには、35 桁の英数字の固有のライセンスキーが付属します。ライセンスキーを、紛失しないようご注意ください。ライセンスキーは、ソフトウェアの再インストールが必要な場合に備えて安全な場所に保管することをお勧めします。

ライセンスキーは、DVD ケースの裏にあります。電子ダウンロードを使用してソフトウェアをインストールする場合は、注文確認メールの指示に従ってください。ソフトウェアをインストールするには、有効なライセンスキーを入力する必要があります。

ライセンスキーは、一度に 1 台のコンピュータで本ソフトウェアのコピー 1 部の使用が許諾されるエンドユーザライセンスアグリーメントに従うために使用されます。詳細については、ソフトウェアをインストールしたアプリケーションフォルダにある FileMaker Pro または FileMaker Pro Advanced のソフトウェアライセンスを参照してください。

同一のライセンスキーを使用してインストールされたアプリケーションのコピーがネットワーク上の別のコンピュータで実行されている場合、FileMaker Pro アプリケーションに次のエラーメッセージが表示されます。「現在、最大登録者数でこの FileMaker Pro を使用しています。」

複数のコンピュータに FileMaker Pro をインストールするには、各ユーザに個別のライセンスキーを使用するか、ボリュームライセンスアグリーメントに基づいてライセンスを取得する必要があります。ユーザ 1 人に対して FileMaker Pro を 1 部ずつ購入する必要があります。

機能を使用するための条件 (Windows)

Windows 用の FileMaker Pro の機能を利用するには、次のソフトウェアが必要です。

機能	必要なソフトウェア
電子メールアプリケーションを使用した [メールを送信] スクリプトステップ	Microsoft Exchange、Microsoft Outlook、Microsoft Outlook Express および Eudora メモ この必要条件は SMTP メールには適用されません。
電話をかける	ダイヤラまたは他の Telephony API (TAPI) 対応のソフトウェア
ODBC 機能	Microsoft Data Access Components (MDAC) バージョン 2.8 SP1 (Windows XP) または Windows DAC 6.0 (Windows Vista) または Windows DAC 6.1 (Windows 7)。MDAC ソフトウェアを更新するには、Microsoft 社のホームページを参照してください。 サードパーティの ODBC ドライバの使用については、 www.filemaker.co.jp/support/technologies を参照してください。FileMaker ODBC ドライバは、インストールディスクイメージの「xDBC」フォルダにあります。ODBC 機能の使用については、『FileMaker ODBC と JDBC ガイド』、および FileMaker Pro ヘルプを参照してください。
QuickTime ムービーおよび画像ファイルの挿入	QuickTime 7.5 ソフトウェア (www.apple.com/jp から入手することができます)

機能を使用するための条件（Mac OS）

Mac OS 用の FileMaker Pro の機能を利用するには、次のソフトウェアが必要です。

機能	必要なソフトウェア
電子メールアプリケーションを使用した [メールを送信] スクリプトステップ	Microsoft Exchange、Mac OS Mail メールクライアントソフトウェア メモ この必要条件是 SMTP メールには適用されません。
ODBC 機能	Actual Technologies の ODBC Manager (www.odbcmanager.net からダウンロードできます) または Apple の ODBC Administrator Tool for Mac OS X。 Mac OS X バージョン 10.5 では、オペレーティングシステムの一部として ODBC Administrator がインストールされます。Mac OS X バージョン 10.6 では、ODBC Administrator は、www.apple.com/support からダウンロードできます。 サードパーティの ODBC ドライバの使用については、www.filemaker.co.jp/support/technologies を参照してください。FileMaker ODBC ドライバは、インストールディスクイメージの「xDBC」フォルダにあります。ODBC 機能の使用については、『FileMaker ODBC と JDBC ガイド』、および FileMaker Pro ヘルプを参照してください。
Bento® からのファイルのインポート	Bento 2 以降のサポートされるバージョン (www.filemaker.co.jp からダウンロードできます)
QuickTime ムービーおよび画像ファイルの挿入	QuickTime 7.5 ソフトウェア (www.apple.com/jp から入手することができます)

Windows でサポートされていない機能

Windows 用の FileMaker Pro では、[AppleScript を実行] および [読み上げ] スクリプトステップはサポートされていません。また、Bento からのファイルのインポートはサポートされていません。

Mac OS X でサポートされていない機能

Mac OS X 用の FileMaker Pro では、[電話をかける]、[オブジェクトを挿入]、[DDE コマンドを送信]、および [リンクの更新] スクリプトステップはサポートされていません。

旧バージョンのファイルの開き方

FileMaker Pro 11 では、旧バージョンの FileMaker Pro で作成されたファイルを開くことができます。詳細については、FileMaker Pro ヘルプを参照してください。

FileMaker Pro の旧バージョンからのアップグレード

FileMaker Pro を旧バージョンからアップグレードする場合、アンインストールする前に新しいバージョンへアップグレードすることをお勧めします。

FileMaker Pro の旧バージョンからのアップグレード手順

1. DVD ケースの裏にある 35 桁のライセンスキー、または送信された電子メールのダウンロードリンクを使用してアップグレード版をインストールします。
2. プラグイン、辞書の情報、および環境設定を FileMaker の新しいバージョンへ移動します。環境設定の移動についてはテクニカルサポートインフォメーション (www.filemaker.co.jp/support) を参照してください。
3. 最新バージョンのみを使用する場合は、旧バージョンをアンインストールします。

最新バージョンへアップグレードする前に、旧バージョンのアンインストールを選択する場合、旧バージョンのライセンスキーを必ず用意してください。アップグレード用のライセンスキーで FileMaker Pro をインストールする場合、インストーラはインストールするコンピュータのハードドライブから旧バージョンを検索します。旧バージョンが見つからなかった場合は、旧バージョンのライセンスキーを入力するよう求められます。

ユーザ辞書の更新

旧バージョンの FileMaker Pro でユーザ辞書に単語を追加した場合は、FileMaker Pro 11 でもその辞書を使用することができます。ユーザ辞書の変換の詳細については、FileMaker Pro ヘルプを参照してください。

ボリュームライセンスでのインストール

ボリュームライセンスで複数の FileMaker Pro をインストールする場合、またはサイレントインストールを行いたい場合は、処理を自動化することができます。FileMaker Pro DVD に含まれている「Assisted Install.txt」ファイルを使用して、インストールダイアログボックスをバイパスすることができます。詳細については、『FileMaker Pro ネットワークインストールセットアップガイド』を参照してください。ボリュームライセンスの詳細については、www.filemaker.co.jp を参照してください。

第 2 章

Windows での FileMaker Pro のインストール

インストール作業を開始する前に、実行中のプログラムをすべて終了し、作業内容を保存してください。FileMaker Pro の最新情報については、DVD の内容を参照して「お読みください」を読むか、www.filemaker.co.jp を参照してください。

インストール参考事項

FileMaker Pro をインストールする前に、次の参考事項を確認してください。

- FileMaker Pro をインストールするには、管理者権限が必要で、管理者のユーザ名ならびにパスワードを使用する必要があります。
- ご使用のコンピュータでウイルス保護ソフトウェアが実行されている場合は、FileMaker Pro をインストールする前に終了し、インストール後に再度実行してください。

- デフォルトでは、FileMaker Pro は次のフォルダにインストールされます。

C: ¥ Program Files ¥ FileMaker ¥ FileMaker Pro 11

インストール中に別のドライブまたは別のフォルダを選択することができます。

- デフォルトでは、FileMaker Pro Advanced は次のフォルダにインストールされます。

C: ¥ Program Files ¥ FileMaker ¥ FileMaker Pro 11 Advanced

インストール中に別のドライブまたは別のフォルダを選択することができます。

- インストール中に、すべてのプログラム機能をインストールする [すべて]、またはプログラムの一部をインストールする [カスタム] を選択します。たとえば、ディスクの空き容量を確保するために、特定の機能をインストールしないこともできます。

- インストールの開始時に、FileMaker Pro インストーラの言語バージョンを選択します。デフォルトで選択される言語バージョンは、オペレーティングシステムの言語と同じです。[すべて]でインストールする場合は、選択した言語バージョンのみがインストールされます。[カスタム]を選択し、サポートされている言語の一覧から他の言語パックを選択することで、追加の言語バージョンをインストールできます。
- アップグレードインストールまたはソフトウェアアップグレードの実行前に、FileMaker ソフトウェアはハードドライブおよびシステムに接続しているボリュームすべてをスキャンして旧バージョンを検索します。複数のドライブまたはボリュームがある場合は、このスキャンに数分かかる場合があります。
- コンピュータに FileMaker Pro 11 評価版をインストールしている場合は、FileMaker Pro をインストールする前にアンインストールする必要があります。FileMaker Pro のアンインストールの詳細については、18 ページの「FileMaker Pro 11 の削除、変更、または修復」を参照してください。

FileMaker Pro のインストール

FileMaker Pro をインストールするには、インストールプログラムを使用する必要があります。ファイルをハードディスクにドラッグしても、FileMaker Pro はインストールできません。

インストールされたすべてファイルのレジストリエントリとパスの一覧を記録したインストールログファイルを作成する場合は、FileMaker Pro をコマンドラインからインストールする必要があります。16 ページの「コマンドラインからの FileMaker Pro のインストール」を参照してください。

FileMaker Pro をハードディスクにインストールするには：

1. 次のいずれかの操作を行います。
 - ソフトウェアを電子的に入手した場合は、ファイルのダウンロード後にインストーラアイコン（.exe ファイル）をダブルクリックします。



- DVD を使用して FileMaker をインストールする場合は、DVD ドライブに DVD を挿入し、FileMaker DVD ウィンドウを開いてインストーラアイコンをクリックします。



クリックしてアプリケーションをインストールします



クリックすると DVD の内容を参照できます



クリックすると終了します

2. 画面の指示に従って FileMaker Pro をインストールします。

インストールの詳細については、13 ページの「インストール参考事項」を参照してください。

3. インストールが終了したら、[完了]をクリックします。

[ユーザ登録] ダイアログボックスが表示されます。

FileMaker Pro の登録

ご購入いただいた製品について、テクニカルサポートやバージョンアップサービスを受けるためには、ユーザ登録を行っていただく必要があります。プロンプトに従って、登録、製品、および詳細情報を入力します。

FileMaker Pro の評価版を試用している場合は、使用する前にソフトウェアを登録する必要があります。

FileMaker Pro の [ヘルプ] メニューから [FileMaker Pro の登録] を選択して、登録することもできます。

コマンドラインからの FileMaker Pro のインストール

コマンドラインから FileMaker Pro をインストールして、インストールログファイルを作成するには、次の操作を行います。

1. DVD を DVD ドライブに挿入します。
2. コマンドウインドウを開きます。
3. コマンドウインドウで、次のコマンドを入力します。

```
E: ¥ Files ¥ setup.exe /v"/Lr  
C: ¥ FMP11InstallLog.txt"
```

ここで、「E:」は、DVD ドライブを指します。DVD ドライブに別のドライブ文字を使用する場合は、その文字を「E」の代わりに入力します。

4. 画面の指示に従います。

「FMP11InstallLog.txt」ファイルがハードディスクのルートディレクトリに作成されます。このファイルは、ワードパッドまたはワードプロセッサプログラムで表示することができます。

Bonjour のインストールについて

Bonjour のサービスを使用すると、IP ネットワーク上のコンピュータ、デバイス、およびサービスを自動で検出することができます。リモートホストを検出できるようにするには、Bonjour をインストールする必要があります。

Bonjour がインストールされていないか、またはサービスが実行中でない場合、FileMaker Pro はリモートネットワークを検出することができません。たとえば、[共有ファイルを開く]ダイアログボックス内でホストされているデータベースを表示したり、外部データソースとして使用するリモートファイルの一覧を表示できません。

Bonjour がない場合は、リモートデータベースの IP アドレスを手動で入力する必要があります。

FileMaker Pro のインストール中、インストーラは次の手順を使用します。

- Bonjour が検出されない場合は、インストーラによって警告が表示され、Bonjour をインストールするようメッセージが表示されます。
- FileMaker でサポートされていないバージョンの Bonjour のインストールが検出された場合は、インストーラによって警告が表示されます。Bonjour を手動でアンインストールし、FileMaker でサポートされているバージョンの Bonjour を手動でインストールするようメッセージが表示されます。
- FileMaker でサポートされているバージョンの Bonjour のインストールが検出された場合は、インストーラによる警告は表示されず、Bonjour のインストールは行われません。

Bonjour を手動でインストールするには、次の操作を行います。

1. FileMaker Pro インストールフォルダを開きます。
2. 「Bonjour」フォルダを開きます。
3. Windows のバージョンに基づいて32ビットまたは64ビットフォルダを開きます。
4. Bonjour セットアップアイコンをダブルクリックします。
5. 画面の指示に従って Bonjour をインストールします。

ハードディスク上でのファイルの保存場所

FileMaker Pro インストーラにより、オペレーティングシステムおよび選択したインストールオプションに応じて、ハードディスク上の複数のフォルダにファイルがコピーされます。コマンドラインインストールを実行してインストールログファイルを指定した場合は、インストールされた各ファイルの保存場所を記録したインストールログファイルを参照することができます。

FileMaker Pro 11 の削除、変更、または修復

Windows XP のコントロールパネルの [プログラムの追加と削除]、Windows Vista、または Windows 7 のコントロールパネルの [プログラムと機能] を使用して、FileMaker Pro を削除したり、失われたファイルや壊れたファイルを自動的に修復したり、インストールする機能を変更することができます。詳細については、Windows ヘルプを参照してください。

FileMaker Pro を変更または修復する場合は、ライセンスキーを入力するようプロンプトが表示されることがあります。

FileMaker Pro のキャッシュサイズの変更

FileMaker Pro は、データベースの一部を内部キャッシュに保持します。使用しているコンピュータのメモリ設定によっては、キャッシュサイズを変更してコンピュータのパフォーマンスを向上させることができます。

次のような場合、キャッシュサイズを増加することをお勧めします。

- 作業するデータベースファイルのサイズが大きい場合
- 複数のデータベースファイルで同時に作業する場合
- ホストとしてデータベースファイルを開く場合
- 多数のグラフィックを含むデータベースファイルを使用する場合
- データベースファイルにサイズの大きいグラフィックを挿入する場合

限られたメモリ（RAM）量で複数のアプリケーションを同時に起動する場合は、キャッシュサイズを削減することをお勧めします。

メモ FileMaker Pro に割り当てるキャッシュサイズを増減させると、FileMaker Pro の実行に必要なメモリ量も増減します。

メモリ管理方法の詳細については、コンピュータに付属のドキュメントを参照してください。

FileMaker Pro で使用するキャッシュサイズを変更するには、次の操作を行います。

1. FileMaker Pro の [編集] メニューから [環境設定...] を選択します。
[環境設定] ダイアログボックスが表示されます。
2. [メモリ] タブをクリックします。
3. [ファイルキャッシュの変更:] ボックスに数値を入力してから、[OK] をクリックします。

次回 FileMaker Pro を起動すると、指定したキャッシュサイズが使用されるようになります。

この後の作業を開始するにあたって

FileMaker Pro のインストール終了後、アプリケーションで直ちに作業を開始することができます。実際の作業に取りかかる前に、以下を参考にしてください。

- データベースを初めてご使用になる方は、『FileMaker Pro ユーザーズガイド』の第2章「データベースの使用」および第3章「データベースの作成」をお読みください。ここではデータベースの基本概念が説明されています。
- FileMaker Pro を初めてご使用になる方は、『FileMaker Pro チュートリアル』のレッスンを行ってください。チュートリアルの PDF ファイルとサンプルファイルは、「日本語エキストラ」フォルダ内の「チュートリアル」フォルダにあります。

- FileMaker Pro の使用経験がある方は、このガイドの第 4 章「新機能」をお読みください。FileMaker Pro 11 で利用できる新しい機能の概要が紹介されています。
- FileMaker Pro Advanced をすでに利用しているユーザは、『FileMaker Pro Advanced デベロップメントガイド』および FileMaker Pro ヘルプを参照してください。

第 3 章

Mac OS での FileMaker Pro のインストール

インストール作業を開始する前に、実行中のプログラムをすべて終了し、作業内容を保存してください。FileMaker Pro の最新情報については、DVD の内容を参照して「お読みください」を読むか、www.filemaker.co.jp を参照してください。

インストール参考事項

FileMaker Pro をインストールする前に、次の参考事項を確認してください。

- FileMaker Pro をインストールするには、管理者権限が必要で、管理者のユーザ名ならびにパスワードを使用する必要があります。
- ご使用のコンピュータでウィルス保護ソフトウェアが実行されている場合は、FileMaker Pro をインストールする前に終了し、インストール後に再度実行してください。
- インストール中に、すべてのプログラムファイルをインストールする [標準インストール]、またはプログラムの一部をインストールする [カスタムインストール] を選択します。たとえば、ディスクの空き容量を確保するために、特定の機能をインストールしないこともできます。
- [標準インストール] を選択した場合は、オペレーティングシステムと同じ言語の FileMaker Pro がインストールされます。[カスタムインストール] を選択し、サポートされている言語の一覧から他の言語パックを選択することで、追加の言語バージョンをインストールできます。
- アップグレードインストールまたはソフトウェアアップグレードの実行前に、FileMaker ソフトウェアはハードドライブおよびシステムに接続しているボリュームすべてをスキャンして旧バージョンを検索します。複数のドライブまたはボリュームがある場合は、このスキャンに数分かかる場合があります。

- Apple Remote Desktop を使用すると、FileMaker Pro のコマンドラインからのインストール、またはリモートインストールを実行することもできます。詳細については、『FileMaker Pro ネットワークインストールセットアップガイド』を参照してください。
- コンピュータに FileMaker Pro 11 評価版をインストールしている場合は、FileMaker Pro をインストールする前にアンインストールする必要があります。FileMaker Pro のアンインストールの詳細については、23 ページの「FileMaker Pro 11 のアンインストール」を参照してください。

FileMaker Pro のインストール

FileMaker Pro をインストールするには、インストールプログラムを使用する必要があります。ファイルをハードディスクにドラッグしても、FileMaker Pro はインストールできません。

FileMaker Pro をハードディスクにインストールするには：

1. 次のいずれかの操作を行います。
 - ソフトウェアを電子的に入手した場合は、ファイルのダウンロード後にディスクイメージアイコン (.dmg ファイル) をダブルクリックします。



- DVD を使用して FileMaker をインストールする場合は、DVD ドライブに DVD を挿入し、FileMaker DVD ウィンドウを開きます。
2. FileMaker Pro のインストーラアイコンを探してダブルクリックします。

FileMaker Pro イン
ストーラアイコン



3. 画面の指示に従って FileMaker Pro をインストールします。

インストールの詳細については、21 ページの「インストール参考事項」を参照してください。

4. インストールが完了すると、[ユーザ登録] ダイアログボックスが表示されます。

FileMaker Pro の登録

ご購入いただいた製品について、テクニカルサポートやバージョンアップサービスを受けるためには、ユーザ登録を行っていただく必要があります。プロンプトに従って、登録、製品、および詳細情報を入力します。

FileMaker Pro の評価版を試用している場合は、使用する前にソフトウェアを登録する必要があります。

FileMaker Pro の [ヘルプ] メニューから [FileMaker Pro の登録] を選択して、登録することもできます。

インストールログファイルの表示

インストールのログファイルを表示し保存するには、インストーラのウィンドウの [ウインドウ] メニュー > [インストーラ ログ] を選択します。エラーと進行状況の両方、またはエラーのみ、またはすべてのログを表示できます。

FileMaker Pro 11 のアンインストール

FileMaker Pro 11 をアンインストールするには、次の操作を行います。

1. FileMaker Pro 11 または FileMaker Pro 11 Advanced フォルダとすべての内容をアプリケーションフォルダからゴミ箱にドラッグします。

2. FileMaker Pro または FileMaker Pro Advanced の環境設定ファイルをゴミ箱にドラッグします。

環境設定ファイルのパス名は、次のとおりです。

FileMaker Pro の場合 : <ホーム>/ライブラリ /Preferences/
com.filemaker.client.plist

FileMaker Pro Advanced の場合 : <ホーム>/ライブラリ /
Preferences/com.filemaker.client.advanced.plist

FileMaker Pro のキャッシュの調整

Mac OS では必要に応じて動的にアプリケーションにメモリが割り当てられるため、FileMaker Pro アプリケーションに特定の量のメモリを割り当てるように設定することはできません。ただし、FileMaker Pro のキャッシュサイズを調整することは可能です。

次のいずれかの項目を実行する場合は、キャッシュサイズを増やすことができます。

- 作業するデータベースファイルのサイズが大きい場合
- 複数のデータベースファイルで同時に作業する場合
- ホストとしてデータベースファイルを開く場合
- 多数のグラフィックを含むデータベースファイルを使用する場合
- データベースファイルにサイズの大きいグラフィックを挿入する場合

限られたメモリ (RAM) 量で複数のアプリケーションを同時に起動する場合は、キャッシュサイズを削減することをお勧めします。

FileMaker Pro で使用するキャッシュサイズを変更するには、次の操作を行います。

1. FileMaker Pro で [FileMaker Pro] メニューから [環境設定...] を選択して、[メモリ] タブをクリックします。
2. [ファイルキャッシュの変更:] ボックスに数値を入力してから、[OK] をクリックします。

次回 FileMaker Pro を起動すると、指定したキャッシュサイズが使用されるようになります。

この後の作業を開始するにあたって

FileMaker Pro のインストール終了後、アプリケーションで直ちに作業を開始することができます。実際の作業に取りかかる前に、以下を参考にしてください。

- データベースを初めてご使用になる方は、『FileMaker Pro ユーザーズガイド』の第2章「データベースの使用」および第3章「データベースの作成」をお読みください。ここではデータベースの基本概念が説明されています。
- FileMaker Pro を初めてご使用になる方は、『FileMaker Pro チュートリアル』のレッスンを行ってください。チュートリアルのPDFファイルとサンプルファイルは、「日本語エキストラ」フォルダ内の「チュートリアル」フォルダにあります。
- FileMaker Pro の使用経験がある方は、このガイドの第4章「新機能」をお読みください。FileMaker Pro 11 で利用できる新しい機能の概要が紹介されています。
- FileMaker Pro Advanced をすでに利用しているユーザは、『FileMaker Pro Advanced デベロップメントガイド』およびFileMaker Pro ヘルプを参照してください。

第 4 章

新機能

この章では、FileMaker Pro 11 の新機能と改善点の概要について説明します。これらの機能の詳細については FileMaker Pro ヘルプを参照してください。

レポートおよび分析の改善

- FileMaker グラフ – 統合されたグラフ作成ツールを使用して、棒グラフ、線グラフ、面グラフ、および円グラフでグラフィカルなデータの比較や対比ができます。
- レイアウトフォルダ – レイアウトをグループ化するフォルダの作成、レイアウトの名前の変更、複製と削除、およびレイアウトポップアップメニューに表示するレイアウトとフォルダの選択が、すべて [レイアウトの管理] ダイアログボックスから実行できます。
- デフォルトのレイアウト表示 – 初めてレイアウトを開いた時に表示されるデフォルト表示 (フォーム形式、リスト形式、表形式) を設定できます。
- レイアウト/レポートアシスタントの強化 – アシスタントでは、データのグループ化、および集計レポートを作成する機能がさらに効率化されました。

他のアプリケーションやデータソースとの統合

- 定期的なインポート – Microsoft Excel や、タブおよび CSV などのデータソースから、FileMaker Pro 11 に自動的にデータをインポートできます。ソースファイルの更新は、FileMaker Pro テーブルに反映されます。

- Bento データのインポートを強化 (Mac OS) — Bento の日付およびタイムスタンプ書式を FileMaker Pro にインポートし、FileMaker Pro の日付およびタイムスタンプとしてデータを再フォーマットできます。さらに、Bento データソースから暗号化された簡易リストフィールドをインポートできます。
- インスタント Web 公開 — インスタント Web 公開で Web 上に公開されたデータベースは、FileMaker Pro でデータベースを扱う時と同じようなステータスツールバーを含みます。FileMaker グラフは、インスタント Web 公開を使用して公開できます。

使いやすさの改善

- スプレッドシートのような形式のデータの取り扱い — 使い慣れたスプレッドシート形式を使用して、表形式でフィールドやレコードを追加できます。フィールドのソート、削除、非表示、フィールドのデータタイプの変更、およびフィールドオプションを設定できます。フィールド別に前部または後部グループを追加してグループ化したレポートを表形式から作成できます。
- クイック検索 — ブラウズモードでレイアウト上の全フィールドを検索できます。
- インスペクタ — レイアウトモードで行う大半の編集作業がインスペクタで行うことができます。ひとつの場所でオブジェクト設定の表示と修正ができます。
- ポータルフィルタリング — ポータルに表示される関連レコードを指定するためにポータルにフィルタを追加できます。
- 最近使ったファイルの消去 — ファイルメニューから [最近使ったファイルを消去] コマンドを使用して最近開いたファイルの名前を消去できます。
- スナップショットリンク — 元の検索条件を実行した時とまったく同じレイアウト、表示、ソート順を含むレコード ID の対象レコードを取得して保存し、電子メールで送信できます。

- テキストの強調表示 — レイアウト内で重要なテキストを見つけやすくするために強調表示することができます。
- クイックスタート画面の強化 — クイックスタート画面を使用してデータベースを素早く作成、変換、開くことができ、ローカル、共有ファイル、お気に入りファイルを管理できます。チュートリアルや FileMaker フォーラムなど、その他の役立つ情報にもアクセスできます。

アプリケーションの基盤

- セキュリティの改善 — 総合的なセキュリティ計画の一環として、他の FileMaker Pro ファイルが、保護されたソリューション内のスキーマ (テーブル、レイアウト、スクリプト、および値一覧) にアクセスすることを許可するかどうかを設定することができます。バージョン 11 より前の FileMaker Pro でファイルを開けないようにすることもできます。
- スクリプトによる検索条件における変数の使用 — 作成または編集するスクリプトによる検索条件に、ローカル変数およびグローバル変数を含めることができます。
- レイアウト上での変数のマージ — ローカル変数またはグローバル変数からの値を表示するマージ変数を作成できます。いくつかの操作で、グローバルフィールドまたは非保存の計算フィールドの代わりにマージ変数を使用できます。
- SMTP による電子メールの送信における TLS のサポート — 電子メールを SMTP で送信する場合、TLS (Transport Layer Security) 暗号化を選択して、同じポート上で保護された接続と保護されていない接続の両方を可能にできます。

スクリプトステップ、スクリプトトリガ、および関数

- スクリプトの選択と編集の改善：
 - [スクリプト指定] ダイアログボックスに、スクリプトの追加、編集、複製、および削除を行うボタンが追加されました。
 - Windows では、スクリプトウインドウを FileMaker Pro のアプリケーションウインドウの外に移動することができます。これらのスクリプトウインドウ内のメニューで、スクリプトの管理や編集が可能です。
- 起点情報 – ヘルプの各スクリプトステップ、スクリプトトリガ、および関数の説明に、作成された FileMaker Pro のバージョンが含まれます。
- [レイアウトの管理を開く] スクリプトステップ – [レイアウトの管理] ダイアログボックスを表示します。
- [クイック検索の実行] スクリプトステップ – 指定したテキストまたは計算式の関数により返されたテキストに基づく 1 つまたは複数の検索ワードに一致するレコードを検索します。
- [レコードをスナップショットリンクとして保存] スクリプトステップ – 対象レコードのセットを FileMaker Pro スナップショットリンク (FPSL) ファイルに保存します。
- OnLayoutExit スクリプトトリガ – レイアウトから移動する前にスクリプトを実行します。
- OnObjectValidate スクリプトトリガ – アクティブなオブジェクトが検証または保存される前にスクリプトを実行します。
- OnViewChange スクリプトトリガ – 表示形式（フォーム、リスト、表）が変更されたときにスクリプトを実行します。
- Get (アカウントアクセス権セット名) 関数 – データベースを開く際に使用されるアカウントアクセス権セット名を返します。
- Get (アカウント拡張アクセス権) 関数 – 有効な拡張アクセス権に対するキーワード一覧を改行で区切って返します。返される一覧は、データベースファイルを開くのに使用されたアカウントに基づきます。

- Get (クイック検索テキスト) 関数 — ユーザが [クイック検索] ボックスに入力したテキストを返します。
- 次の関数とスクリプトトリガ名が変更されました。
 - Get (アクセス権セット名) 関数は、Get (現在のアクセス権セット名) に変わりました。
 - Get (拡張アクセス権) 関数は、Get (現在の拡張アクセス権) に変わりました。
 - Get (ポータル行番号) 関数は、Get (アクティブポータル行番号) に変わりました。
 - OnLayoutLoad スクリプトトリガは、OnLayoutEnter に変わりました。

変更された機能

- ユーザインターフェースの強化 (Mac OS) — Mac OS X の標準を反映するために、Mac OS のダイアログボックスの外観と動作が変更されました。
- デフォルトアクセス権セットの [利用できるメニューコマンド] 設定 — セキュリティのさらなる改善のために [利用できるメニューコマンド] のデフォルトのアクセス権セットの設定 (新規アクセス権セットを作成する際に使用) が [最小] になりました。

FileMaker Pro 11 Advanced

- カスタムメニューのユーザインターフェースの改善 — カスタムメニューおよびカスタムメニューセットの作成と管理をより容易にわかりやすくするために、ユーザインターフェースが強化されました。
- カスタム関数のコピー/貼り付け (ペースト)/インポート — カスタム関数のコピー、貼り付け (ペースト)、インポート、およびファイル間でもコピー、貼り付け (ペースト)、インポートできます。
- スクリプトデバッガの強化 — ボタンやカスタムメニュー項目から呼び出されるスクリプトをデバッグします。

